

医療従事者負担軽減計画

(2026年度計画)

目標

当院では、勤務医、看護師の勤務状況を把握し改善すべき点について対応してきたが、勤務医の負担軽減を進めるのにコメディカルを含めた協力体制のもと他職種への分担を進め、勤務医、看護師の負担の軽減を目標とします。

現状の役割分担	具体的計画
1 外来診療時間の短縮、地域の他の保険医療機関との連携などの外来縮小の取り組み	新患を減らさず再診患者をかかりつけ医に誘導する 診察患者数の把握（新患・再診）等
2 妊娠・子育て中の職員への配慮	保育所の定員の拡充予定（15人） 勤務シフト上での配慮 家庭の事情や児童の年齢等を考慮
3 医師事務補助者の配置による勤務医の事務作業の負担軽減	診療科ごとの患者数に応じて医師事務作業補助者の配置 サマリ、診断書の作成補助
4 勤務後の暦日の休日の確保	勤務計画において確実に休日が確保できる体制をとる
5 時間外労働の削減	時間外労働の実績を把握するとともに業務量の調整や他職種の協力関係を構築していく。
6 医療技術部、薬剤部に助手の配置による事務作業等の負担軽減	配置増員の検討と提案
7 機器導入による負担軽減	医療機器を導入することにより、作業の自動化等を図る余地がある